会 社 案 内

アサヒペン

暮らしを彩り
住まいをまもる

代表取締役社長
澤田　耕吾

当社は、1962年（昭和37年）当時生産財であった塗料を消費財と捉え、日本には存在しなかった『家庭塗料』という新しい市場に社運をかけて挑戦しました。

現在では、全国に販売網を擁し、売上高はもとより、知名度、品ぞろえやサービス体制等において、『家庭塗料』のトップメーカーとして認知されております。

これは、ひとえに当社を支えていただいたお得意先様やお取引先様、先輩社員をはじめ数多くの関係者の方々のお蔭と感謝しております。『家庭塗料』という商品は、購入されたお客様が使用され期待通りに仕上がって初めて評価されるため、私達は塗料というモノを売っているのではなく、アサヒペンというブランドを通して信頼を売っていると考えてきました。

当社の社是の1番目に掲げている「誠意を貫く　信用第一主義」が我々の基本精神であり、先輩社員が一つ一つ地道に積み上げてきた信頼を引き継ぎ、今後も関係者のご期待に応えられるよう誠心誠意努力していく覚悟でございます。

当社は「暮らしを彩り　住まいをまもる」をトータルコンセプトに、住生活の質的向上と充実に貢献することを企業の使命と考えております。この経営理念に沿って『家庭塗料』や塗装用品等の塗料関係の製品以外にも、カベ紙・障子紙・ガラスシート等のインテリア用品、住宅用洗剤・ワックス・補修材等のハウスケア用品、屋外やガーデンまわりのガーデニング用品等の製造販売も手がけており、ホームセンター等の店頭では一定の存在感を示しています。

今後も、「暮らしに彩り」をそえる事業、「住まいをまもる」ための事業に取り組み、住生活の質的向上と充実に貢献してまいります。

アサヒペンの
由来とロゴに
込められた
思い

現在、社名となっている「アサヒペン」は、1965年当時社名であった「旭ペイント」の「アサヒ」と「ペイント」の「ペン」を組み合わせた造語です。
アサヒペンの文字につけられた色の配列は、波長の長いほうから順に並べ、カラフルな5色によって塗料のイメージと楽しさを感じさせるよう配慮されています。5色を波長の順に並べたのは、変化の中に秩序をもたせ、まとまりを与えることによって読みやすくするためです。
文字を右に傾け、文字を太くしているのは力強さを、また、文字の間を細い線でつないでいるのは塗料の粘りを表しています。

社是

一、誠意を貫く 信用第一主義
一、不可能を可能にする 積極経営
一、高収益・高賃金を実現する 生産性向上

経営理念

「暮らしを彩り　住まいをまもる」をトータルコンセプトに、優れた製品とサービスをお客様に提供し、住生活の質的向上と充実に貢献する。

ステークホルダーへの当社の責任

社会に対して

- 経営理念の実現。
- 安全の確保と自然環境の保全に先見性を持ち、責任ある態度で臨む。

お客様に対して

- 競合他社よりも優れた価値とサービスを提供し、永続的に高い信頼と支持を得る。

お取引先様に対して

- 重要なビジネスパートナーと認識し、誠意と信用第一により共に繁栄することを目指す。

株主様に対して

- 株主様に信頼され、また繁栄ある未来のために誠実で魅力的な企業を目指す。

従業員に対して

- 会社の繁栄を通じ、従業員の豊かな生活を実現する。

お客様満足のための私たちの取り組み

お客様にとっての満足とは、製品の購入のみで得られるものではなく、
お望み通りの仕上がりになることで達成できるものと私たちは考えています。
製品づくりはもとより、販売店様へのサポート、購入され使用されるお客様のニーズに
お応えするために様々な行動を行っています。

製品づくり

当社の経営理念を具現化するため、製品開発にあたってはお客様のニーズを的確にとらえ、「安心・安全」はもとより「簡単」「きれい」「便利」「楽しい」の要望に応えた製品づくりを目指しています。

モニター試験

新製品開発の最終過程においては、その製品のターゲット候補となる方々を集め、試用・評価を行って頂く「モニター試験」を実施しています。特に、これまで製品に触れたことのない初心者にとっても“使いやすく”“仕上がりがよい”にこだわった製品づくりをしています。

販売店様サポート

お客様が用途に応じて選びやすく、商品を比較検討しやすい販促物や棚割りを積極的にご提案し、販売店様の営業活動を支援しています。同時に、店頭での情報発信を通じて、新しいマーケットの開拓・ユーザーの創造に取り組んでいます。

講習会

販売店様向けに、専門の技術スタッフが商品の基礎知識や使い方を分かりやすく説明する機会を設け、お客様の「売場での買い易さ」に貢献しています。

お客様サポート

お客様相談室では、技術スタッフが直接電話で応対しています。購入から使用後の各段階において、専門家の見地からお客様へのサポートを行っています。

サポート情報の配信

お客様の不安を解消し、失敗を防ぐ使い方動画や、創造性を刺激する活用事例の紹介等、豊富な情報をホームページで配信しています。

お客様の満足

- 安心・安全
- 簡単
- きれい
- 便利
- 楽しい

DIY文化の普及・定着活動

広告宣伝・普及

長年に渡り、積極的にテレビCMや新聞・雑誌への広告掲載、イベントやテーマパーク等への協賛を通じて、塗料やDIY用品における技術革新等の最新情報を発信しています。

アサヒペンの知名度はトップクラス!
マスメディアによる企業イメージ調査で高い評価を獲得しました。

テレビCM

JAPAN DIY HOMECENTER SHOW

キッザニア甲子園

住生活の質的向上と充実に 貢献する2つの事業

アサヒペンの事業領域

塗料事業

当事業は、当社の主力製品である家庭用塗料および金属用・プラスチック用等の工業用塗料、塗装用品の製造および販売を行っています。
独自の技術を駆使して、安全で幅広いニーズに対応した塗料や塗料メーカーのノウハウを生かし塗りやすく、きれいに仕上がる塗装用品を開発しています。

DIY用品事業

当事業は、カベ紙・障子紙・ガラス用装飾シート等のインテリア用品、住宅用洗剤・ワックス・補修材等のハウスケア用品、および園芸用品等の製造・販売を行っています。住まいをまもるだけでなく、インテリアやエクステリアに潤いを与え、個性的な住生活に役立つ製品を幅広く開発しています。

暮らしを彩り 住まいをまもる

塗料事業

■ 主な塗料製品ラインナップ

■ 工業用塗料

■ 塗装用品ラインナップ

主な塗料製品開発の歩み

1973年 他社に先駆け、水性ツヤあり塗料〈アサヒペン住宅用セブン〉を発表し、家庭用塗料水性化時代の幕を切る。

1978年 〈ワンコートカベ用〉塗料を発売し、家庭用塗料ワンコート化（1回塗り仕上げ）の先鞭をつける。

1981年 従来、塗装不可能とされていたポリプロピレンへの直接塗装および接着を可能とするプラスチック用塗料オレフィックスシリーズの開発に成功。（日米欧で特許）

1985年 塗料圧送ローラー〈オートローラー〉を発売する。

1990年 消防法上の非危険物で、しかもノンフロン化に成功した〈水性ニュースプレー〉を発売する。

1991年 無臭タイプの〈水性カベ浴室用塗料〉を発売する。

1998年 使用後のスプレー缶に残ったガスを安全に抜く業界初の〈ガス抜きキャップ付〉スプレーを発売する。

2008年 地球温暖化による猛暑対策、省エネルギーをコンセプトに消費者向け遮熱塗料シリーズ〈水性屋根用遮熱塗料〉と〈水性屋上防水遮熱塗料〉を発売する。

2013年 煩わしい下地処理がいらずサビの上からそのまま塗れる〈油性高耐久アクリルトタン用〉を発売する。

AWARDHISTORY

[JAPAN DIY HOMECENTER SHOW（旧JAPAN DIY SHOW）]

【 日本DIY協会会長賞 】
- 強力防水塗料（1999年）
- 弱溶剤型2液ウレタンスプレー（2010年）

【 経済産業大臣賞 】
- ジェルカラーニス（2001年）
- 水性ブロックステイン（2020年）

【 通産省生活産業局長賞 】
- オートローラー（1985年）
- 水性建物用（1993年）
- 塗料はがし液（1996年）
- プラスチック用プライマー（1998年）
- メタルプライマー（1998年）

【 大阪市長賞 】
- 水性クリーンカベ・浴室用（1999年）

【 銀賞 】
- 水性鉄部用（1997年）
- Nuri-Deco-Wall（2022年）

【 入選 】
- 水性高耐久2液ウレタンニス（2009年）
- 水性外壁凹凸遮熱塗料（2011年）
- 水性強着色ウッドステイン（2021年）

DIY用品事業

■ 主なインテリア用品ラインナップ

■ ハウスケア用品ラインナップ

■ 園芸用品ラインナップ

主なDIY用品開発の歩み

1969年 ガラスクリーナー、フロアワックス、金属みがき等のハウスケア用品の販売を開始。

1980年 インテリア用品として内装用シート〈デラックスカベ用〉の販売を開始。

1983年 住まいの補修材〈OKシリーズ〉を発売する。

1984年 インテリア用品の品揃え強化策として障子紙、ふすま紙、装飾内装シート等をロリアンブランドでシリーズ化。

1987年 業界初、湿気に強い〈アイロン貼り障子紙〉を発売。

1989年 業界初、スチームアイロンで貼るふすま紙を発売。

1991年 業界初、貼りなおし自由自在のニュータイプカベ紙〈Q:TAC〉を発売。

1992年 業界初、エコマーク認定カベ紙を発売。

1992年 子会社であったアサヒペン・ワールドトレードを吸収合併し、園芸用品やガーデンまわりの商材の輸入販売を開始。

2005年 ペットの引っかきキズに強い〈プラスチック障子紙〉を発売。

2011年 手軽にできる〈ワンタッチ補修材シリーズ〉を発売。

2016年 手軽で簡単、貼ってはがせるカベ紙用装飾シート〈透けてデコるシート〉を発売。

AWARDHISTORY

[JAPAN DIY HOMECENTER SHOW(旧JAPAN DIY SHOW)]

【 通産省生活産業局長賞 】
- Q:TAC(1991年)

【 大阪府知事賞 】
- トイレコート(1992年)
- Q:TACボーダーシート(1994年)
- 天井用・カベ用パネルカベ紙(2002年)

【 銅賞 】
- かくし技(1998年)
- 職人技(1998年)

【 人と環境にやさしい商品　人気投票　金賞 】
- キッチン重曹クリーナー

～研究開発・生産・物流～

技術・研究体制

大阪本社ビルに隣接する技術センターでは、多様化するお客様のニーズに応えるため、製品の研究開発、コストダウン、お客様への技術的なサポート等を行っております。また、品質保証に万全を期すため販売された製品を試買し、品質の安定化に注力しています。

技術センター

▶研究開発

研究員一人一人が専門領域に止まらず、革新的創造力を十二分に発揮して実験と考察を繰り返しています。
安全性と環境保全を第一に、お客様が安心して便利に使用し、満足していただけるよう、お客様目線での製品の開発に努めるとともに、競合他社と差別化した競争力のある製品づくりを行っています。

▶仕上りを左右する道具・器具開発

お客様の多様化するニーズに応える為に、製品の品ぞろえの充実、仕上りを左右する道具・器具の開発にも取り組んでいます。

▶コスト低減

最新の原材料情報の収集に努め、原材料の代替および効率利用を促進するとともに、生産効率の改善など、コスト低減にも注力しています。

生産体制

兵庫県加東市にある兵庫工場では、主要製品である家庭用塗料をはじめ、工業用塗料の生産も行っています。近年はニーズの多様化により、多品種・小ロット生産が不可欠となっており、合理的・効率的に生産できるよう自動計量、自動充填、自動梱包等によって、少数精鋭で生産性を高めています。
当工場は、工業標準化実施優良工場として、大阪通産局長賞を受賞しており、その品質管理の精神は現在も引き継がれ、生産部門と品質管理部門双方で厳しく管理・検査を行い、お客様に満足いただける高品質の製品を安定的に生産する体制を整えています。

環境マネジメントシステムISO14001
認証取得（認証登録番号：JQA-EM0845）

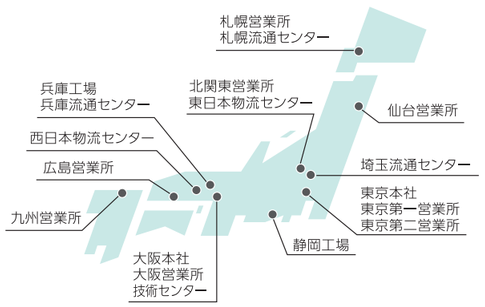
兵庫工場

西日本物流センター

東日本物流センター

物流体制

全国5か所の直営流通センターに加え、地域密着の委託倉庫会社との連携体制を整備することで、受注後の迅速な配荷を実現し、販売店様の販売機会ロスの最少化に努めています。



Move
Forward

未来を彩る「ヒト」をつくる

当社の経営理念である「暮らしを彩り　住まいをまもる」を実現するため、
その基盤となる積極的で感性豊かな人づくり、一人一人の社員がその能力を生かし
長く安心して働ける職場環境の維持・向上に努めています。

大阪本社ビル

東京本社ビル

社内ソフトボール大会

社内ボウリング大会

自己啓発奨励・公的資格取得援助対象資格

- ＤＩＹアドバイザー
- インテリアコーディネーター
- カラーコーディネーター
- 公害防止管理者
- 危険物取扱者
- 技術士
- 通関士
- 実用英語技能検定

ほか多数

新人研修

アサヒペンのメンバーとしての自覚を持ち、即戦力となる人材を育成するための研修プログラムを用意しています。製品知識に加えその使い方の習得、製造・流通現場における実地研修を通して、必要なスキルを身につけます。

会社概要
Overview

社　　名　株式会社アサヒペン

所 在 地　〒538-8666　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号
電話　06-6930-5001（代表）　FAX　06-6930-5032
URL　https://www.asahipen.jp

創　　業　1940年（昭和15年）　10月
設　　立　1947年（昭和22年）　9月19日
役　　員　代表取締役社長　澤田　耕吾

取締役相談役	田中　弘文	取締役	松浪　由竹	監査役	福山　晃伸
常務取締役	柊　英浩	取締役	林　正明	監査役	辻子　伸夫
取締役	石尾　維英	取締役（社外）	藤枝　政雄	監査役（社外）	真鍋　靖
				監査役（社外）	藤原　慶三

売 上 高　10,543百万円（2022年3月期）単体　／　14,131百万円（2022年3月期）連結
資 本 金　5,869百万円（2022年3月末）

従業員数　158名（2022年3月末）単体　／　226名（2022年3月末）連結

主な事業内容
塗　料　事　業：家庭用塗料、工業用塗料や塗装用品等の製造・販売
DIY用品事業：カベ紙・障子紙・ガラス用装飾シート等のインテリア用品、住宅用洗剤・ワックス・補修材等のハウスケア用品、園芸用品等の製造、輸入および販売

上場市場　東京証券取引所　市場第二部

取引銀行　三井住友銀行　梅田法人営業第一部　／　三菱UFJ銀行　中之島支店　／　りそな銀行　大阪営業部
伊予銀行　大阪支店　／　関西みらい銀行　城東中央支店

沿革
History

1940年　10月、田中七郎が大阪市旭区で「大和塗料工業所」を創業、一般塗料の製造販売を開始する。
1946年　工場を大阪市都島区御幸町に設け、社名を「旭化学工業所」と変更して、塗料の製造販売を再開する。
1947年　9月、大阪市鶴見区の現在地に移転するとともに資本金195000円の株式会社に改組、社名も「旭ペイント株式会社」と改称する。
1951年　日本国有鉄道に調合ペイントの納入を開始する。
1958年　日本国有鉄道納入の調合ペイント（黒色）納入量第1位となる。
1962年　欧米における家庭塗料の普及ぶりと日本での将来性に着目し、家庭塗料専業メーカーへの転身。
1965年　社名を家庭塗料の商品名に一致させて「株式会社アサヒペン」と改称する。
1978年　大阪証券取引所市場第二部に株式を上場。
1979年　業界では初めて、全国の消費者を対象としたキャンペーン「アサヒペン・家庭塗料祭り」を実施する。
1980年　兵庫工場（兵庫県 加東市）が完成し、生産能力月産1,000トンの新鋭工場が稼働する。
1988年　東京本社ビル（東京都 江東区猿江）が完成する。
1989年　西部流通センター（現 西日本物流センター 兵庫県 西脇市）が完成する。
1990年　大阪本社ビル（大阪市 鶴見区鶴見）が完成する。
1991年　機構改革により、従来の支店・営業所を統廃合し、全国8支店体制とする。
2001年　ホームページを開設する。
2013年　東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場する。
2021年　東日本物流センター（埼玉県 本庄市）を開設する。

アサヒペングループ
Group company

	企業名と所在地	事業内容
当社	**株式会社アサヒペン** 〒538-8666　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号	家庭用塗料、工業用塗料、塗装用品の製造・販売 インテリア用品、ハウスケア用品、園芸用品等の製造、輸入および販売
関係会社	**大豊塗料株式会社** 〒346-0028　埼玉県久喜市河原井町23番-7号	工業用塗料の製造・販売
	株式会社アサヒペン・ホームイングサービス 〒538-0053　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号	塗装工事の請負および施工
	共福産業株式会社 〒538-0053　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号	園芸用品卸業
	株式会社アサヒロジスト 〒538-0053　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号	物流サービス業
	株式会社オレンジタウン 〒538-0053　大阪市鶴見区鶴見４丁目１番12号	店舗賃貸業
	株式会社ザ・ペット 〒567-0854　大阪府茨木市島４丁目26番25号	ペットフード、ペット用品総合卸業

株式会社アサヒペン

大阪本社	〒538-8666	大阪府大阪市鶴見区鶴見 4-1-12	TEL 06(6930)5001㈹	FAX 06(6930)5032
東京本社	〒135-0003	東京都江東区猿江 2-3-16	TEL 03(3846)6111㈹	FAX 03(3846)6110

札幌営業所	〒003-0030	北海道札幌市白石区流通センター 4-2-5	TEL 011(863)3288	FAX 011(863)3116
仙台営業所	〒981-3112	宮城県仙台市泉区八乙女 4-6-6	TEL 022(218)5880	FAX 022(218)1455
北関東営業所	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄800-2	TEL 0495(73)3008	FAX 0495(73)3017
東京 第一営業所 第二営業所	〒135-0003	東京都江東区猿江 2-3-16	TEL 03(3846)6112	FAX 03(3846)6116
大阪営業所	〒538-8666	大阪府大阪市鶴見区鶴見 4-1-12	TEL 06(6930)5008	FAX 06(6935)2021
広島営業所	〒735-0021	広島県安芸郡府中町大須 4-1-58	TEL 082(282)0965	FAX 082(282)2889
九州営業所	〒813-0011	福岡県福岡市東区香椎 1-22-5-201	TEL 092(661)3310	FAX 092(661)1811
兵庫工場	〒673-1324	兵庫県加東市新定字木谷 275-43	TEL 0795(46)1271	FAX 0795(46)0563
静岡工場	〒437-1507	静岡県菊川市赤土1899-1	TEL 0537(73)5722	FAX 0537(73)5723
札幌流通センター	〒003-0030	北海道札幌市白石区流通センター 4-2-5	TEL 011(863)3288	FAX 011(863)3116
東日本物流センター	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄800-2	TEL 0495(73)3033	FAX 0495(73)3035
埼玉流通センター	〒366-0801	埼玉県深谷市上野台 1450-26	TEL 048(571)4811	FAX 048(572)7600
兵庫流通センター	〒673-1324	兵庫県加東市新定字木谷 275-43	TEL 0795(46)1272	FAX 0795(40)8000
西日本物流センター	〒677-0063	兵庫県西脇市平野町 521-20	TEL 0795(23)6211	FAX 0795(23)2202

発行NO.2023.02